



株式会社マイクロエコテック会社案内

企業理念

私たちは医療廃棄物を適正に処分するだけでなく 再利用、再資源化することによって地球環境の劣化を抑制し次世代に美しい地球を伝えることに貢献します。

■ 行動方針

1. 地域社会の一員として貢献いたします
2. 安全を最重要視いたします。
3. 廃棄物処理法並びに環境基本法に基づく各法令を遵守します。
4. 排出事業者様の立場に立ってお役に立てる企業を目指します。
5. 社会の信頼を裏切りません。

■ ご挨拶

今日、人類の経済活動が活発になるにつれ環境への負荷は深刻になりつつあります。

この美しい惑星『地球』にとって私たち人間は自然環境を蝕む『がん細胞』であるかもしれません。地球にとっては人類が生きていること自体が害悪になっております。

地球にとって人類の歴史など一瞬のことですがとりわけこの数十年間における環境破壊はすさまじいものであります。

今すぐにでも立ち上がらないと取り返しのつかないこととなります。

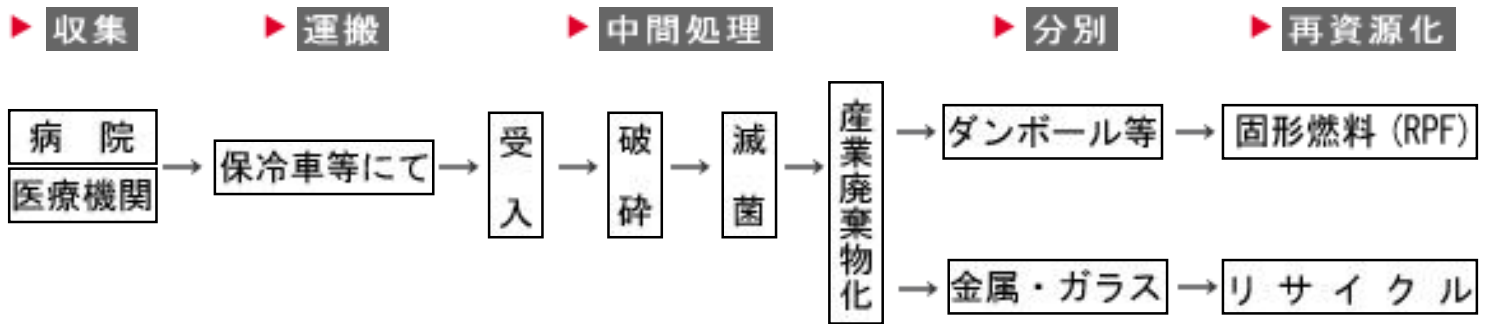
この美しい地球を子供たちに伝えてゆく努力をしてゆかないとこの星はそこに住むものにとって死の星になることでしょう。

私たちの取組みは微々たるものでしかありませんがとにかくなにかから始めないとなりません。

中国の『山を移した愚公』のようにまず一抱えの医療廃棄物を再利用することから始めたいと思います。

代表取締役 赤阪 昌彦

業務内容



医療廃棄物を巡る現状

使用済みの注射針やカット綿、おむつ等の医療廃棄物はこれまで、施設内での処理後に一般産業廃棄物として焼却、埋め立て処理されてきました。しかし、焼却処理の際に排出されるダイオキシンや産廃の不法投棄といった環境問題のクローズアップを受け、政府は平成9年以降、新たな処理方法を認可する一方で、関連法案の改正による排出事業者の責任明確化やダイオキシン規制の強化といった抜本的な対策に乗り出しました。

当社の滅菌処理システムはこの平成9年に認可された新たな処理方法を採用したもので、ダイオキシンや土壌・水質汚染といった環境負荷を発生させずに医療廃棄物を処理できます。

業務内容

- ▶ 収集 ▶ **運搬** ▶ 中間処理 ▶ 分別 ▶ 再資源化

病院・医療機関から排出された感染症廃棄物は、密封容器に入れられ、専用の運搬車輛により中間処理施設の当社へ搬入されます。

容器は密封されたまま滅菌処理装置に投入され、自動化された処理装置内で破碎され、高周波滅菌処理装置にて加熱滅菌処理されます。



- ▶ 収集 ▶ **運搬** ▶ 中間処理 ▶ 分別 ▶ 再資源化

マイクロウェーブ

当社は最高水準の滅菌処理を目指し、国内有数の医療機関である東京慈恵会医科大学や京都府立医科大学、高知大学がその性能を高く評価し、すでに導入されている米国製の高周波滅菌処理装置「サニテックHG-A 250S」を選定しました。

高周波滅菌処理装置は、マイクロウェーブを照射し、物質が含む水分の電子を振動させることにより医療廃棄物を100℃に加熱すると共に150℃以上の蒸気を噴射させ完全滅菌処理を施します。

焼却処理と比べて、高周波滅菌処理装置はダイオキシンを一切発生させないのが特徴です。



業務内容

▶ 収集

▶ 運搬

▶ 中間処理

▶ 分別

▶ 再資源化

滅菌処理により一般の産業廃棄物となった医療廃棄物は、ダンボールや廃プラスチックと金属に分別され、リサイクルされます。



▶ 収集

▶ 運搬

▶ 中間処理

▶ 分別

▶ 再資源化

全体の98%を占めるダンボールや廃プラは造粒加工され、製鉄所の高炉で使用されるコークスの代替品「高炉還元剤」となります。



会社概要

会社名 株式会社マイクロエコテック

設立 平成15年10月15日

資本金 3000万円

代表取締役 赤阪 昌彦

所在地 〒653-0033 神戸市長田区苅藻島町3丁目12番29号
TEL: (078) 685-5115 (代)
FAX: (078) 682-8022

事業区域 全国

事業内容

(処理工場)

1. 感染性廃棄物の中間処理
2. 産業廃棄物のRPF(固形燃料)化

(電子研究所)

1. 医療廃棄物の処理に係るシステム,マニフェストの研究開発
2. 感染性廃棄物の再資源化システムの研究開発
3. 国産の高周波滅菌装置の研究開発

主要顧客

- ・神戸アドベンチスト病院 ・神戸朝日病院 ・神戸市消防局
- ・株式会社ビー・エム・エル ・神戸総合医療専門学校
- ・日本カルミック ・四天王寺病院 ・麻生商事株式会社
- ・その他80施設 順名不同